



# いいで町

No.  
145

# 議会だより



ピカピカの……。

## 3月議会(2回定例会)

3月定例会概要	2~3P
施政方針・重要事業	4P
総括質疑	5P
予算特別委員会	6~7P
一般質問	8~12P
条例	13p
特別委員会設置・臨時会	14P
常任委員会	15P
議会報告会概要	16~19P
一部事務組合議会・編集後記	20P

# 3月定例会概要

平成24年3月定例会は、3月1日から3月9日までの9日間の会期で開催されました。

本定例会では、平成24年度各会計予算15件をはじめ、条例12件、補正予算12件、発議他16件等55案件について審査しいずれも原案どおり可決、承認しました。

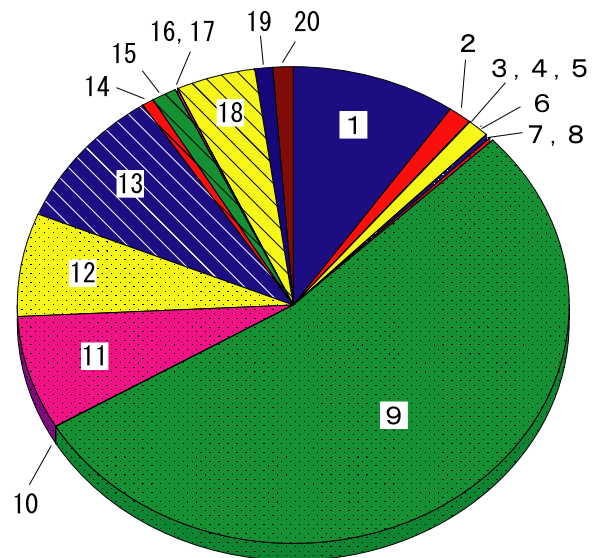
平成24年度予算は、一般会計が52億9700万円前年度比1.1%増、特別会計及び企業会計を合わせた予算総額は87億3881万円で、4.4%の増となっています。

## 性質別歳入歳出予算額

### 歳入

(単位：万円)

項目	予算額	
1. 町税	6億 192	
2. 地方譲与税	7500	
3. 利子割交付金	150	
4. 配当割交付金	80	
5. 株式等譲渡所得割交付金	15	
6. 地方消費税交付金	6700	
7. 自動車取得税交付金	1500	
8. 地方特例交付金	1200	
9. 地方交付税	28億 2649	
10. 交通安全対策特別交付金	170	
11. 国庫支出金	3億 3851	
12. 県支出金	3億 157	
13. 町債(町の借金)	4億 8010	
14. 分担金・負担金	3927	
15. 使用料・手数料	8527	
16. 財産収入	932	
17. 寄付金	10	
18. 繰入金	2億 9416	
19. 繰越金	6800	
20. 諸収入	7914	
合計	52億 9700	



# 平成24年第2回

## 平成24年度主な事業計画

### 総務企画課関係

☆地域づくり推進事業 739万円

☆子育て支援医療給付事業 3114万円

### 地域整備課関係

☆町道新設改良等事業 2億3207万円

☆緑のふるさと協力隊受け入れ事業 250万円

☆環境衛生・清掃事業 1億1903万円

☆住宅リフォーム支援事業 1000万円

☆行政事務情報化推進事業 3706万円

☆消防関連事業 2億4984万円

☆除雪機械整備事業 3700万円

☆いいですね定住推進事業 884万円

### 教育委員会関係

☆スクールバス更新購入 673万円

☆添川地区等集落排水施設建設事業 3億703万円

☆基幹業務システム構築事業 4995万円

☆校舎耐震診断・補強業務、修繕工事 1255万円

☆配水池耐震診断等事業 2700万円

☆物品調達事業(町の消耗品・燃料購入) 1504万円

### 産業振興課関係

☆雇用対策事業 5782万円

### 健康福祉課関係

☆福祉施設修繕工事補助(福祉の里めぐみ) 600万円

### 住民税務課関係

☆稲わら資源循環事業 500万円

☆予防接種事業 1901万円

☆デマンド交通運行事業 1240万円

☆青年就農給付金事業 300万円

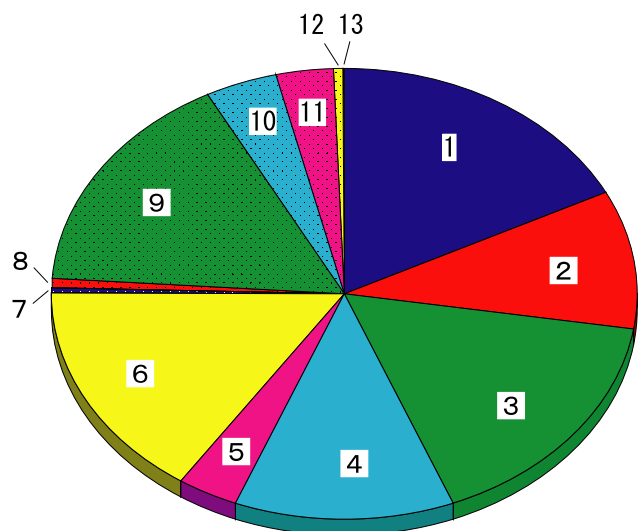
☆健康診断事業 1202万円

☆生産振興助成事業 3400万円

☆観光基本計画策定事業 200万円

## 性質別歳入歳出予算額

項目	予算額	
1. 人件費	10億129	
2. 扶助費	4億2897	
3. 公債費(借金返済)	8億2725	
4. 物件費	7億8189	
5. 維持補修費	1億9831	
6. 補助費等	7億3772	
7. 積立金	1577	
8. 投資・出資・貸付金	2800	
9. 繰出金	7億8595	
10. 普通建設事業(補)	2億4587	
11. 普通建設事業(単)	2億708	
12. 災害復旧費	3390	
13. 予備費	500	
合計	52億9700	



## 平成24年度施政方針

# 住民の夢・希望実現に向けて



飯豊町長

後藤 幸平

町民の皆様からの期待を背負って、町政に携わり三年を経過し、任期最終年の予算編成となります。

掲げる旗には、「語り合いまちづくり」・「耕すまちづくり」・「育てるまちづくり」この三本の旗を掲げてその具体化のため種々の政策立案と実践に取り組んできました。

平成24年度においては、三本の旗に掲げた課題はいまだに色あせていないことを痛感し、農業に新展開をもたらす新施策、商工業分野への町独自の支援・振興策を講じていきます。

さらに、ライフラインの安定、若者定住促進のための住宅地造成や乳幼児施設の充実などの多様な事業を展開し、期待に応える行政運営に努めます。

## 24年度の重要事業

### ◎語り合う

#### まちづくり

人口対策を重要に捉え、雇用の拡大や仕事づくり、若者の定住対策に取り組んでいきます。

その筋道として、公募提案となる「実践型地域雇用創出事業」の獲得を、飯豊町地域雇用創造協議会を設置し進めていきます。

この推進母体を含め地域資源を活かした「仕事の学校制度」を形づくっていきます。

### ◎耕すまちづくり

本町の基幹産業である農業は産業政策の中心として取り組んで

ました。今後も町独自の生産振興助成や果樹の生産振興助成や果樹

苗木助成などの生産振興を継続し、農産物を

加工・販売を行う6次産業化の推進を進めま

す。

観光関係者の連携を促進し、関係機関との

ネットワーク化など効果的に誘客を図るため

の観光基本計画策定に着手します。

### ◎育てる

#### まちづくり

町の将来を担う子供

の教育と子育て支援のための環境整備、芸術

文化振興や広域交流の促進、スポーツ環境の

構築などに努め、明るく豊かで活気に満ちた

人づくり・地域づくり

を進めていきます。以上、行財政改革と住民サービスの向上の両立を目標に、住民のために働く行政であることを職員全員が認識し、住民の期待に応える公平で公正な行政運営に努めていきます。

住民の誰もが明日への希望を抱き、夢を語り合い、実現に向けて歩み続けることが出来るまちづくりに向けて力を尽くしていきます。

# 施政方針を問う

## 総括質疑



鈴木敏夫 議員

行政改革大綱の

取組みは

質問 推進体制としての  
具体的内容と税の収  
納率向上対策は。

推進体制と並行し検討

町長 推進体制と町税  
や町税以外の債権の効  
率的徴収に向けた公金  
の一元化の収納対策を  
検討します。

質問 歳出の抑制とし  
て、義務的経費の抑制  
は。

大幅な削減で実施

町長 義務的経費の削  
減は、ピーク時の平成  
16年度の6割強と大幅  
に削減しております。

質問 子育て支援対策  
は。

計画的推進体制を策定

町長 次世代育成支援  
後期計画の推進を基本  
に取組みます。

質問 高齢者の支援は  
どう進めていくのか。

住環境と生活基盤の  
整備を創造

町長 住民に誇りと自  
信をもたらし得る住環

境と、生活基盤を創造  
することであると認識  
しています。

質問 にぎわいの再現  
プロジェクト委員会活

動は、今後どのように  
進められるのか。

にぎわい再現活動を  
支援強化

支援強化

町長 交流の拡大に向  
け、独自の活動が推進  
し、加速できるよう若  
者の活動を応援・支援  
を強化します。

質問 結婚問題につい  
て、具体的な施策は。

広域的な連携を強化

町長 広域的な活動や  
町内での各団体の連携  
を強め、工夫したイベ  
ントの開催と若者や女  
性が参加しやすい町づ

くりの推進が大切と考  
えています。

中小企業・商店街の  
振興策について

振興策について

質問 現状を衰退させ  
ない支援と、商店街の  
魅力と集客力を目指し  
た取組みは。

販路拡大事業と  
地産地消運動の推進

町長 改善活動等を含  
めた人材の育成や販路  
拡大の事業支援が出来  
ないか検討します。  
更に商店街の魅力と  
集客力向上に向けた取  
り組みについては、従  
来の支援の継続に加え、  
地産地消運動の推進と  
地元商品の優位性のア  
ピール等も含めた支援  
を進めます。



# 委員会



舩山 清一  
予算特別委員長

平成24年度一般会計、特別会計予算13件及び水道事業会計予算について予算特別委員会を設置し審査しました。委員長に舩山清一、副委員長に八島伝内両議員を選任、3月6・7日2日間にわたり審査を行い、いずれも認定すべきものと決しました。

## 一般会計

教育活動と教育環境  
の充実は

中村委員 自立や自主学習を支援する適応指導教室の開設と適応指導支援員の募集についてどのように進めますか。

教育文化課長 いち早く通常の学習ができる環境を整える目的で設置するものです。開催場所は町内の公共施設

を考えています。

指導員については教員資格を有している方、教職員OB等を2人お願ひし、週5日間の開所を考えています。

飯豊分校跡地  
利用は如何に

山口委員 飯豊分校跡

地利活用調査業務委託ということで予算計上されていますが、その調査とはどのような内容ですか。

総務企画課長 現段階

では、具体的な案などは出ていません。総合支庁との間で利活用の町の考え方、県として支援の方法などについて話し合いを始めたところです。庁内の職員で構成する検討委員会なども設置し町民の意見を聞きながら検討を進めていきます。

敷地の状況、建物の

状況、どんな利用のしかたが有るのかなどの調査をするために予算100万円を計上した

ものです。

共同調理場の地場  
産品利用状況は

八島委員 共同調理場  
賄材料費の内地元産は何%ぐらいあるのか。  
また品目は米、アスパラなどの他どんなものがあるか。

学校畑での体験学習などで採れたものを給食に利用している例などありますか。

教育文化課長 地場産品の利用割合は、県内産は20%、町内産品は10%程度を見込んでいます。品目は、米、アスパラのほかに、キュウリ、ミニトマト、キヤベツ、じゃがいもニンジン、などがあります。学校の田畑で採れたものを給食賄材料に利用するところまでは

至っていません。

一般行政費の  
削減は

長沼(桂)委員 昨年と比較し、一般行政費が1億3800万円伸びています。自主財源の乏し本町では、一番ここを削減すべきですが、伸びた理由は何ですか。

総務企画課長 物件費が8000万円多くなっています。電算事務の共同処理委託費、緊急雇用対策、子育て支援のための保育士雇用などが主な内容です。



飯豊分校

# 特別予算

「物産展」開催等の  
成果は如何か

るものと思われま

図るものです。

有機肥料センター

補助金は適正か

障がい者地域生活  
支援事業の実態は

障がい者福祉課長

嶋貫委員 これまで各地での物産展、台湾インバウンドなどが続けられてきたがその成果はどれ位で、また、地元商店などへの還元は、

長沼(桂)委員

中村委員 身体・知的

産業政策担当課長

有機肥料センター利用組合に補助金875万円とありますが、この施設は町も出資している第三セクターであり、補助はできないのではないか。

また、障がい者就労支援の委託事業はどこに委託し、どんな事業をやっていますか。

外国からの誘客は近年国・県をはじめ各自治体でも大変積極的に取り組んでおります。

補助の内容はどんなものですか。

健康福祉課長 身体障がい者相談員及び知的障がい者相談員制度は法改正により本年4月1日から、県から町に移管されるものです。

わが町でも平成20年度から台湾からの誘客に取り組んできました。

産業振興課長 この補助金は有機肥料センターにするものではなく生産された有機肥料の利用促進を図るために、任意の利用組合に対するものです。この組合が圃場に散布した際、散布量に応じて補助金を出してきました。

本町では、町の身体障がい者福祉協会から2名、知的障がい者の子供を持つ親御さんから知的障がい者相談員1名を委嘱したいと考えています。

平成20年は3000人、21年は2000人、22年は1300人、23年は震災・原発事故の影響があり大きく落ち込んで600人ほど来町されています。

24年度も補助をして有機肥料の利用促進を

障がい者就労支援委

経済効果は上がっている形

後藤委員 カヤ葺き民家の保存を続けていますが、毎年維持管理費修繕費等経費が増えています。一方、利用は減少している状況だと聞いています。

このまま保存を続けるのか、この際大規模林道の開通という機会を捉え、沿線に移築して町のPRと利用価値を高めるなど考えられないか町長に伺います。

宿泊提供という形で

有機肥料の利用促進を

町長 大規模林道の開通に伴う観光資源の見直し、長期的な観光基

経済効果は上がっている形

有機肥料の利用促進を

でも、カヤ葺き民家は有効な資源であります。移築がいいのか現存のまま保存するのがいいのかの判断は認識の違いで分かれるところでありますが、床とか屋根の状況とかいろいろ課題がありますので、今後充分検討します。

経済効果は上がっている形

有機肥料の利用促進を

町長 大規模林道の開通に伴う観光資源の見直し、長期的な観光基

経済効果は上がっている形

有機肥料の利用促進を

でも、カヤ葺き民家は有効な資源であります。移築がいいのか現存のまま保存するのがいいのかの判断は認識の違いで分かれるところでありますが、床とか屋根の状況とかいろいろ課題がありますので、今後充分検討します。

経済効果は上がっている形

有機肥料の利用促進を

でも、カヤ葺き民家は有効な資源であります。移築がいいのか現存のまま保存するのがいいのかの判断は認識の違いで分かれるところでありますが、床とか屋根の状況とかいろいろ課題がありますので、今後充分検討します。

託については、農業従事者として、また公園緑地等公共的施設業務での就労支援ができないか検討しています。

カヤ葺き民家の  
今後の活用は



どう活かす

一般質問

# 「人口減少」時代における地域政策はどうする



鈴木敏夫議員

- 農業所得の向上対策は
- 6次産業化対策について
- 雇用の拡大に特区法の活用を
- 管理職の勤務評定について
- 中学生のクラブ活動について

質問 農家所得の向上 化への取組みは。対策は。

主要事業に  
位置づけ実施

町長 土地利用型農業  
経営革新支援事業（農  
業の芥川賞）として、  
主要事業に位置づけて  
います。

質問 農業の6次産業

取組体制と連携強化で

町長 関係する全事業  
者との連携を図り、取  
組みの強化を進めます。  
質問 農業の担い手確  
保対策は。

新政策で実現

町長 作物誘導と町独  
自の新政策を展開しま  
す。

質問 雇用の拡大に特  
区法の活用は。

雇用拡大に向け検討

町長 今後の町づくり  
に重要な視点である雇  
用拡大に向け検討を進  
めます。

質問 部下職員による  
管理職の勤務評定は。

今後の検討課題

町長 部下職員による  
上司の評価制度は、今  
後の検討課題とさせて  
いただきます。

質問 中学生の体力向  
上とスポーツ活動を通  
じた健全育成は。

スポーツ活動をサポー  
トできる体制の充実で  
の対応は。 Q 高齢者一人世帯へ

教育委員長 「いいで  
スポーツクラブキラ  
ラ」をさらに充実し学  
校や各団体との連携調  
整し検討します。 Q 飯豊中の駅伝大会  
の状況は。

その他の質問  
A レベルアップに努  
力しています。





## 一般質問

# 土地の有効な利活用を



後藤 惠一郎 議員

### 土地利用計画は万全か

質問 第4次総合計画が策定され、基本計画の中で、住宅団地の計画的な整備、農林業の生産基盤の整備、工業用地の整備等が計画されていますが、どのように土地利用を進めていくのか伺います。

各種計画との  
整合性を図る

町長 今議会に第4次飯豊町国土利用計画の策定について提案させていただきます。

質問 若者定住支援の住宅地造成事業と、町内各地から団地造成の要望があり、さらには

法、森林法などの土地利用関係法に基づく各種計画と整合性を図り適正な土地利用を進めていきます。

産業振興課長 計画は

平成15年以後  
していない

なお、都市計画については、中心の市街地を形成している区域が無く、人口1万人未満であるなど設定要件を満たさないことから本町では、都市計画区域を設定できません。

質問 町の農業振興地域整備計画の見直しは

工業用地の確保について伺います。

各地区順次に着手

町長 住宅政策は町の

根幹をなすもので、田園散居村を目玉に定住対策として求めやすい価格で自然を売りに提供したい。中ノ目南団地の後、椿、中、添川地区より具体案があり着手の方向で考えます。

昭和48年に策定され平成15年に見直しを行いその後していません。平成24年度に行う予定です。

農振除外の  
見直しも必要

町長 西置賜行政組合

でも飯豊分署改築が検討されています。施設は組合だが用地は町で準備する必要があります。優良農地も拠点となる可能性があるので農用地除外の見直しも必要と考えます。



造成中の(仮称)中ノ目南団地(萩生)

一般質問

# 清流「白川」の復元を



船山清一 議員

質問 わが町の宝物、霊峰「飯豊山」そこから流れ出る清流「白川」その白川は近年汚れがひどく、昨夏は水道水の異臭騒ぎが起きました。

さらには、下流域に生息する魚の生態にも大きな影響が出ております。せっかく放流した鮎が漁期には、いなくなる現象が起きています。汚れがひどくなる

と下ってしまうのです。このままでは白川が死の川になる日も近いのではと心配されます。国・県に強く働きかけ

緊急な対策が必要と

思われますが具体的な対応は。

関係機関に

調査と対策を要望

町長 近年のゲリラ豪雨多発、ダム湖水の富栄養化など複合的要因があります。

「河川の環境保全と魚を増やす運動の展開と連携」として県内一丸となった取り組みを提案しています。

本町における最優先課題としてとらえ、国県等関係機関に改善を強く働きかけていきます。

質問 複合的要因の一つでも取り除くために上流地域の下水対策として、合併浄化槽普及促進をどう考えていますか。

上流域の生活排水処理を

地域整備課長

平成30年完成にむけて整備をしたい。

上流域は高度処理が義務づけられており合併浄化槽の設置を考えています。高齢化や環境の問題もあり、3〜4戸共同で個別負担の少ない方法を取る必要があります。

質問 ダム湖を上から眺めると青く澄んでいて濁りは感じられないが、下流は濁っています。それが2〜3週間も続きます。これは、常に

底水だけを放流しているからだと言う話を聞きますが、まさにその現象だと思われま。いろいろな角度から調査実験等をダム側に持掛けてみてはどうか。上水だけを放流する、上下混ぜ合わせるなど、方法があるのでは。

国と相談を

町長 底水だけを流しているという認識は不足していました。提案のことは、国にあたってみます。

国は抜気装置も視野に検討しているようです。

質問 水道の水源確保に苦慮しているようですが、昔に振り返り伏流水の利用を検討しては。

調査検討を

町長 水源の確保、清流の回復にむけて力を尽くしていきます。今後1年をかけて上流部も含めて調査をしていきます。



白川を元気な流れに

## 一般質問

# 代替エネルギーへの取組は



中村 仁一 議員

### 再生可能エネルギーへの取り組みと 新学習指導要領への実施について

質問 東日本大震災による福島原発事故後、稼動している原発は2基のみだが原発に替るエネルギーの導入は。中学校の新指導要領の実施に向けた対応と不登校の状況を伺います。

#### 新エネルギーでの 発電も検討

町長 町のエネルギービジョンで木質バイオマス施設整備と庁舎に冷暖房ペレットボイラー設置や、いいで型

産業振興課長 チップ化はしてないが検討します。  
総務企画課長 庁舎のボイラーは3月末の完成で、まずは冷暖房利用で熱発電は考えていません。

ペレットストーブの開発に取り組み、豊富な森林資源や水資源の活用で新エネルギーの発電方法を検討します。  
新学習指導要領の実施は混乱の無いよう指導します。

また、不登校は中学校で13名です。

質問 森林を利用した間伐材のチップ化と冷暖房ペレットボイラーによる発電は可能か。

#### 森林資源の活用

質問 町の畜産は大産地です。家畜糞尿等を利用し、ガス化や発電と液肥の生産化はできないか。

#### 環境型エネルギーを

町長 家畜排泄物のエネルギー化は国の施設で研究中です。他の自治体も取り組んでいるが、技術やコスト面で厳しく国の動向を見ながらエネルギー対策を積極的に展開していきます。

質問 水資源利用で松原地区で小水力発電に取組み、さらに用水から落差や圧力による発電を山形大学の松村教授の指導で計画しているが町の考えは。

#### 豊富な水資源を

町長 地域の取り組みはすばらしい。町の先駆者として今後の展開に期待し、町も検討します。

質問 水資源利用で松原地区で小水力発電に取組み、さらに用水から落差や圧力による発電を山形大学の松村教授の指導で計画しているが町の考えは。  
指導の充実を  
教育文化課長 有資格者の方や外部からの支援も視野に入れて取り組めます。  
質問 不登校の長期化への学校対応は。  
適応指導教室を開設  
教育文化課長 学校や関係機関の連携と適応指導教室を開設し対応していきます。



完成したペレットボイラー（庁舎）

質問 24年から中学校の武道が必修科目となり柔道を選択したが指

一般質問

# 入団しやすい消防団に



八島 伝内 議員

## どう取り組む 「人・農地プラン」

質問 消防団員の役割が拡大し、住民の期待が高まる中、年々団員数が減少し、確保が難しくなっている現状に加えて、被雇用者消防団員が過半数を占める状態ですが、就業構造の変化にあわせ、被雇用者が入団しやすく活動しやすい環境を整備すべきではないですか。

### 消防団協力事業所の表示制度で

町長 団員の職業から見ると、約9割近くが

と懸念されますが、その対応は。  
パソコンソフトの導入  
教育長 先生方の負担軽減の為にパソコンソフトを導入して、マニュアルを整備し、3月に練習し、4月には活用できるようにします。また、ICTの活用で情報の共有に努め、少しでも多く生徒と向き合うように努力します。

### 新学習指導要領が全面実施に移行するうえで、先生の教科の時間増により生徒の不安に対し相談や理解が

町長 土地利用率農業

の潮目と捉え、国の政策をしつかり掌握した上で多様なレベルで説明会を開き、もつと分りやすい説明書を作成し地域に出向きながら農家の方や関係農業団体と連携してプランを作成し、実質的な農業の活性化を目指します

### 農業者の高齢化や後継者不足、そして耕作放棄地の増加などの問題解決策として、

町長 土地利用率農業

「人・農地プラン」が示されたが、本町の具体的な施策は。  
現在の配置で  
町長 新たな室の設置は考えていないが、職員を2人専門に配置し地域と密着してプランの作成に邁進してまいります。

### 説明書を作成

町長 土地利用率農業



24年消防出初め式

# 条例の制定・一部改正

## 新たな条例

● 飯豊町暴力団排除条例

例 町民の安全で平穏な生活を確保するため設定するものです。

改正するものです。

● 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例

例 関係法律の整備に関する法律の公布に伴い本条例の一部を改正するものです。

雇用状況に配慮し、教育長の給料の削減を引き続き行うため、本条例の一部を改正するものです。

● 飯豊町町税条例

例 東日本大震災による災害関連等により本条例の一部を改正するものです。

● 飯豊町介護保険料条例

例 町の第5期介護保険事業に必要な事項を整備する等により、本条例の一部を改正するものです。

に伴う改正の施行により、本条例の一部を改正するものです。

● 飯豊町定住促進住宅管理条例

● 飯豊町町営住宅の管理条例 新たに低所得者向けの特別家賃を設定、入居要件の見直し等により、本条例の一部を改正するものです。

地域主権改革一括法

## 一部を改正する条例

● 飯豊町印鑑条例に関する条例

例 住民基本台帳の一部改正する法律の施行に伴い、本条例の一部を改正するものです。

● 飯豊町特別職の職員の給与に関する条例

例 現在の町内経済状況及び雇用状況に配慮し町長の給料の削減を引き続き行うこと及び関係法律の整備に関する法律の施行により、本条例の一部を改正するものです。

● 飯豊町スポーツ振興審議会条例

例 スポーツ基本法の公布に伴い、本条例の一部を改正するものです。

● 飯豊町町民プール条例

例 上原地内の町民プール廃止により、本条例の一部を改正するものです。

● 飯豊町一般職の職員の給与に関する条例

例 行財政改革の一環として、本条例の一部を

● 飯豊町教育長の勤務条件に関する条例

例 現在の経済状況及び



定住促進住宅 (いいでハイツ)

# 臨時会

## 活性化検討特別委員会

## 表彰

第一回臨時会は、2月9日に招集され、補正予算2件を審議しいずれも原案どおり可決しました。

活性化検討特別委員会を全員賛成により設置することにしました。活性化検討特別委員会においては次のテーマで議論していきます。

### 3議員に 自治功労者賞

◆学校等再編将来について

定例会初日、3人の議員が全国町村議会議長会及び山形県町村議会議長会（通算11年）より自治功労者表彰を受けました。

### 一般会計補正予算

歳入歳出に9625万円を追加して歳入歳出総額を58億6025万円とするものです。補正の内容は、除雪委託費、水道事業会計補助金が主なものです。

◆産業振興について

◆第三セクターについて

◆学校再編計画について

◆第三セクター調査検討特別委員会（H12・9月設置）の調査検討後の対応について

◆乳幼児施設の構想について

◆施設のあり方と今後の方向性について

◆産業振興について

◆その他特に活性化が必要と認める事項

### 水道事業会計

#### 補正予算

資本的支出の予定額を、収入支出各1700万円を増額するものです。内容は、浄水場活性炭注入設備設置に充てるものです。



フル稼動のペレット工場

### 全国町村議会議長会表彰

菅野富士雄

### 山形県町村議会議長会表彰

長沼桂子  
鳴貫栄助



自治功労者表彰

# 総務文教常任委員会

## 各課からの報告

検討委員会を開催

### ◇総務企画課

- ・職員の退職者 5人
- ・新規採用者 2人
- （一般職）
- ・ペレットボイラー焚

冷温水機工事  
工期は次のとおりです。

11月1日～3月27日

- ・土地開発公社

（仮）中ノ目南住宅  
団地擁壁工事4区画  
盛土工期

4月末まで延期

### ◇住民税務課

- ・小白川地区の空家住宅半壊有り、空家対策の条例設置を検討する。

### ◇教育委員会

- ・第一小学校改築に向けて、3月31日改築

答 構成メンバーについては、第二小学校の

・中津川小中学校統合について、保護者との話し合いを3月下旬に予定。

- ・飯豊分校17名卒業し、全員就職。

## 質問と答弁

問 空家倒壊の報告があつたが、条例化はどのように進めるのか。

答 昨年11月より空家の調査をしている。今後まとめて状況を把握し各自治体を参考にし

て進めます。

問 第一小学校改築検討委員会のメンバーについてPTA保護者は、

正副のみでは少ないのではないのか。

答 構成メンバーについては、第二小学校の改築を参考として設置

しました。基本計画を立てて、今後段階的にメンバーを補強していきたいと考えています。

問 美の里、保育施設などの臨時職員が不足

しているという聞きが、実情はどうか。

答 平成24年度の保育、美の里の臨時職員について要請した人数は集まっていない状況です。

町内外における介護施設の増床、保育所開設により申込者が移動

しているのが原因と考えられます。待遇面を調査し検討していきます。

# 産業厚生常任委員会

## 各課からの報告

### ◇産業振興課

- ・やすらぎ野・施設園芸ハウスの指定管理者申込なし

### ◇地域整備課

- ・国道113号線手ノ子地内歩道設置工事の用地交渉がほぼ終了

- ・水道異臭対策（活性炭注入装置）を6月20日工期で発注

### ◇中津川診療所

### ◇週3回の診療体制

### ◇農業委員会

- ・農地の賃借料、作業賃金は昨年と同じ

### ◇健康福祉課

- ・でんでんを使用できないので、なでしこハウスの中で作業

## 質問と答弁

問 ローターリー除雪作業中、でんでんの外壁

等を破壊し雪が部屋の中まで散乱した。運転手の重大な過失だ。町としての指導と、今後の対策は。

答 事故については運転手から報告を受けます。

した。除雪講習を毎年シーズン前に行っています。業者の作業保険で改修いたします。

問 「人・農地プラン」の取り組みは。

答 農業委員会、農業振興課と一緒に、各地区で説明しプランの作成に関わっていきます。



豆腐工房（やすらぎ野）

# そして 安心・安全なまちづくりへ

## 開催日と会場・参加状況

期 日	場 所	参加人数
1月17日(火)	中津川地区公民館	18
	高峰多目的集会所	15
1月18日(水)	西部地区公民館	21
	小白川公民館	22
1月19日(木)	白樺地区公民館	23
	中部地区公民館	40
1月25日(水)	飯豊町勤労者研修センター	28
1月26日(木)	中公民館	33
1月31日(火)	東部地区公民館	17

### 開かれた議会に

議会が住民に信頼され民主的なまちづくりを実現し、効率的な行財政運営を図るには、議会と町民との連携が重要であります。また、住民参加が極めて重要となっていくことから、議会としては、町政に対する意見等をお聴きするため、1月17日から31日までの6日間、9ヶ所で第2回議会報告会を開催しました。昨年より77名多い217名の皆様から活発な質問意見をいただきありがとうございます。

その内容を掲載します。(一部抜粋)

### 中津川地区

問 公立置賜病院の来客・通院用駐車場が入院者の車でいっぱいなので、通院用駐車場の確保をして頂きたい。

答 置賜病院組合議会です。申し入れをします。

問 子供を地域で育てられる環境づくりを考えていただきたい。

答 町や地域の考えを聞くため特別委員会を設置し検討します。

問 菅沼峠は連続雨量130mmになると通行止になります。道路改良をお願いします。

答 毎年、県に議会として要望しています。引き続き陳情していき

ます。

問 中津川診療所を4

月から週3回、同じ先生の診療体制でお願いしたい。

答 現在、週2回公立

置賜病院等からの派遣で対応しています。議会として週3回診療体制になるよう要望していきます。

問 福島原発事故の風評被害で、農家民宿の宿泊客が減少しています。町として、安全であるとのPRをお願いします。

答 町として安全であるということとはPRしています。放射線量も公表しています。風評被害払拭の対応を町に働きかけます。

### 高峰地区

問 定数削減により議員ひとりに対する責任の重さについて、考えを聞かせてください。

答 全町的な考えをもって議員活動に取り組んでいます。そのひとつとして議会報告会を開催しました。

問 自宅の雪を道路に出している人がいます。車道が狭くて通行に支障が出ています。議員の方々はどのようにしていますか。

答 常任委員会現地踏査をし、現状を把握します。



## 第2回議会報告会

# 議会の活動を皆さんへ

### 手ノ子地区

問 福島原発事故の風評被害で、肉用牛飼育農家が大打撃を受けています。東京電力の賠償金はいつ頃もらえるのか、また肉用牛飼育貸付制度については、借りやすいように、継続をお願いします。

答 賠償金の支払いを円滑に行うように進めたいとのことでした。

貸付金制度について、町に確認し説明するよう申し入れます。

町答 全頭検査を実施し、不検出牛だけを米沢牛として販売するよう申し合わせしました。

貸付金制度は、不具合のものは改正し、チラシで周知しました。来年度も継続を予定しています。

土流出等対応をお願いします。

問 空家問題は全町の問題となっており、解決する仕組みを作っていただきたい。

答 シーズンオフになってから、現地踏査をさせていただきます。整備については、町に申し入れます。

権利や相続問題もあり処分代も高価であります。地元と行政と議会で取り組んでいくべきだと思えます。

答 権利問題が絡んでおりますので、難しい問題と思います。飯豊町全体の問題ですので、早急に地域と行政、議会が一体となって取り組んでいきます。

問 スキー場の夏場利用により、手ノ子地区の活性化になると思います。行政と議会を取り組んでいただきたい。スキー場の安全対策、リフトの整備、赤土敷

### 小白川地区

問 ナラ枯れについて現状はどうなっていますか。

答 昨年度から見るとピークはすぎました。倒木で被害のおそれがあるものを伐倒駆除しています。

町答 今年度は約4700本、昨年度は約34000本で大幅に発生が減少しています。「守るべきナラ林」の

区域を設定し、薬剤の樹幹注入等による被害

予防につとめます。

問 熊対策を事前に行なっていただきたい。

答 里山・山・人間の境界が崩れかけています。有害動物駆除する方も高齢化していますので対応が難しくなつて来ています。

町答 県の地滑り対策事業で復旧工事を行っています。早急な復旧を目指しています。整備については地域

問 天狗山の登山道整備をお願いします。

答 町と検討します。



報告会 (手ノ子会場)

# そして

# 豊かなまちづくりへ

## 楮地区

づくり推進事業のご活用を検討いただきたい。

地元以外の話を聞いて全町的に各地区を知るためこのような体制にしました。

答 よりよい制度、施策を議会や議員として一般質問、議案審議、各常任委員会等で提言しています。

では、実績等によりランク付けをし、指名競争入札等で落札した業者に発注しています。

答 婚活の事業は、広域的に行うことが効果があるため、置賜広域行政組合で一本化して行っています。今後も重要事業として取り組んでいきます。

問 立候補時の公約を実現するには、執行部へどのようにアプローチしますか。

問 今年、置賜33観音札所の御開帳です。ポランティアの育成や朱印所の看板設置をお願いします。

問 原発事故・原発について、議員の見識を聞きたい。

問 職員の態度、出勤時間を守らない職員がいます。また、職員の人事評価について伺います。

問 副町長不在をどう思っていますか。副町長は置かなければならないのですか。

答 町民から議員個人ごとに意見を聞き、一般質問や議会の中、常任委員会等で当局へ提言しています。

答 宗教上の問題があるので行政では取り組みが難しいです。各札所の護持会で対応して頂きたい。

答 議会として「卒原発」とエネルギー政策の転換を求める意見書を国会、各省庁に提出しています。

答 職員の態度については嚴重に申し入れる。出勤時間については議会報告会后、町長が職員に指導しました。

答 法的には、必ずしもおこななくてもよいが、業務上、責任者につく場合や広域行政の中でも重要な役割があり、議会では必要だと思います。町長に強く要望していきます。

## 萩生地区

問 議会報告会は「地域からの要望」とあります。区民会等を通して要望していますが、その進捗状況を地元議員に伺う機会と考えています。地元議員のいない班編成になっていますが伺います。

問 「いいですね定住条例」「にぎわい再現」などあります。現在の人口は7800人です。議会としてどのような政策に関与しているか伺います。

問 指名入札制度の業者選定方法と、議会との関わりがあるのか伺います。

問 若者の定住と雇用が大事です。婚活に対するの支援事業を議会

問 黒沢地区で宅内除雪機を要望致します。

答 地元議員は、地元の話聞いています。

町答 工事発注について

問 黒沢地区で宅内除雪機を要望致します。

## 第2回議会報告会

# 皆さんの声を議会へ

答 町へ提言します。

町答 高齢者対策事業として地域に体制整備をお願いしながら要望にお応えしていきます。

問 廃棄物、人糞、牛糞がすべて黒沢に来て

います。黒沢をないがしるでは困ります。下川原の堆肥もあるので、原因を観察し指導していただきたい。(臭い)

ので夏は外に出られない)

答 町も堆肥センター

整備など一部対応しています。臭気対策については、町側に継続して申し入れていきます。

町答 住環境に配慮し

ながら循環型農業の推進を図り、継続して課題の解決に向け対策を講じていきます。

### 中部地区

問 飯豊分校の閉鎖は何年ですか。跡地利用と、今年は募集しますか。

答 平成24年度をもって募集停止、25年度本校に統合します。跡地は、県と町で協議していきます。

町答 跡地利用については、町民の意見を聞きながら検討していきます。

問 町税、給食等の滞納はいくらですか。収納対策は、強制執行はしていますか。

町答 平成22年度で、税・税外収入合わせて1億円の未収金があります。町では、納税推

### 東部地区

進委員及び担当者による訪問徴収や計画納税を行うことを指導するとともに、一部差し押さえ等を行っています。

問 議員として東部地区をどう見ているのか伺います。

答 企業団地、福祉施設、第3セクター(温泉)など他地区にないものがあり、さらに国道が通っており、町の主要地区だともいいます。

問 空家対策として、本町は全町的に、光ファイバーが入っています。都会のベンチャー

のIT企業に空家をただで貸して、使用してもらってはいかがですか。

### 各地区共通話題

答 賃借の件、アイデアは大事にしたいとおもいます。空家は、権利問題が絡んでおり、難しい問題であります。また、町全体の問題

早急に地域と行政、議会とが一体となって取り組んでいきます。

問 休日、夜間議会をやってほしい。出前議会はできないか。

答 出前議会は設備上の問題があり開催が難しい。夜間議会は、前向きに検討します。

問 水道水の異臭、原因、改善策をお願いします。

答 水道水の異臭、原因、改善策をお願いします。

答 町あげて取り組まなければならない課題です。白川ダムの水質改善について国土交通省に要望を行い現在調査が行われています。2月臨時会では、高度処理施設の予算が議決されました。また、河川管理者や漁協等との意見交換をはじめ、清流を取り戻すための対策に取り組みます。

問 第3セクター経営施設の老朽化の改修等議会としての考えを伺います。

答 町が、多額の設備投資をしています。指定管理者制度で運営していますが、遊休施設もあります。今後

も再度、特別委員会を設置し検討していきます。

# 一部事務組合議会報告

## 置賜広域行政事務組合

2月20日に置賜広域行政事務組合定例会が開催されました。2市2町による消防広域化による消防特別会計が新たに18億614万円加わり、56億5100万円の予算となりました。

置賜広域行政組合汚泥センター建設工事請負契約が締結されました。16億2120万円が落ち、完成は平成26年3月の予定です。23年度の広域的婚活推進事業については、3回のイベントが実施され、1月28日の「エルベ」の開催で5組のカップルが誕生し、合計14組が成立しました。

## 西置賜行政組合

西置賜行政組合議会定例会が3月23日組合消防本部で開かれ、24年度一般会計予算や組合火災予防条例の一部改正など4議案を原案どおり可決しました。

一般会計予算は総額14億5097万円で主な事業は消防救急デジ

タル無線・センターの実施設計、高規格救急車・高度救命処置用資機材などです。

また、組合監査委員に野村一芳白鷹町副町長を選任することに同意しました。

## 置賜広域病院組合

2月17日、2月定例会を開催し、23年度補正予算、24年度予算、職員の勤務時間・休暇等に関する条例の一部改正案の3議案を原案のとおり可決、23年度補正予算の専決処分を承認、人事案件1件に同意し閉会しました。

24年度予算は収益的

収入総額を134億6400万円、支出総額を140億8400万円とし、当年度純損失6億1900万円。年間入院患者数は述べ21万503人、外来患者数35万6928人と見込みました。本町の当初負担額は1809万円です。



新しい救助工作車

## 編集後記

4月は出会いと別れの月であるが、一方新しい決意での出発の月でもある。

今回の定例会は、困難ともいわれる東日本大震災の発生、福島原発事故により、政治と経済の状況が地方にも影を落す中で行なわれました。委員一同、開かれた情報を読みやすくお届けするよう心がけています。皆さんのご意見・ご要望をお待ちしております。

(鈴木記)

### 発行責任者

議長 菅野富士雄

### 広報委員長

嶋貫 栄助

### 副委員長

後藤恵一郎

### 委員

山口 文隆

鈴木 敏夫

船山 清一

長沼 安義